

## 【国宝松本城への小旅行】

長野支部 小池信良

日時：平成30年10月16日(火)

目的：会員相互の親睦を図る

参加者(敬称略)：北信在住者：近藤漢三、北島健次、伊部政司、小宮山和俊、  
小池信良

：東信在住者：池田國夫

：南信在住者：仲田茂明、北條芳明 (合計：8名)

当日、北信組の5人はJR長野駅に9時30分集合し10時00分発の「しなの8号」で、松本駅に向け出発した。電車内では2月の総会以来の再会でもあり話は尽きなくあっという間に松本駅に到着した。

松本駅で11時00分に待ち合せた東信組と南信組の3人と合流、池田さんの自家用車とタクシーに分乗し、目的地の松本城に向かった。10分程で目的地の駐車場に到着し、いざ松本城へ。因みに駐車場は昼食(懇親会場)を予約しておいた(そば庄松本城店)の駐車場である。先ず昼食の予約を確認し本丸庭園への入場口である黒門から入場、折角の見学でもあるので管理事務所公認のボランティアガイドさんに案内をお願いし見学順路に沿って歩を進めた。

スタート前にガイドさんからは松本城についての一連の説明があったが、その中で観光バスのガイドさんが松本城について、別名「烏城」とも呼ばれていると、案内していることをよく耳にするが(一部市民も同様らしい)、その様な事は文献上表記されていないとの事であった。

先に進む前に松本城についてネットから引用した内容を記述します。

「松本城」とは長野県松本市にあり、安土桃山時代末期～江戸時代初期に建造された天守は国宝に指定され、城跡は国の史跡に指定されている。松本城と呼ばれる以前は「深志城」といった。天守が国宝指定された5城のうちの一つである。(他は姫路城、犬山城、彦根城、松江城) 主な城主としては、小笠原氏、石川氏、松平氏等である。

元に戻り見学をスタートしますが、太鼓門から二の丸御殿跡、御金蔵、本丸御殿跡等と進みようやく天守に入場することになったが、総勢8人のうち入場者は半数であった。理由は今までに何回か見学していること、1階から6階までの7カ所の階段数が約140段あり最大斜度は61度で更に蹴上げ(1段の高さ)が40cmと過酷なため、その後の昼食会(アルコール?)を考えると、此処で体力を消耗させてしまえば楽しみが半減することが予想されるため等であった。(趣味の仕事?で足に負傷されている人も1名おられました)

半数を庭園に残し大勢の観光客と一緒に入場、1階から展示物を鑑賞し時折武者窓から外を眺めながら、狭く傾斜が厳しい階段を息を弾ませ最上階まで登りきり、降りには観光客の流れに身を任せながら、表で待ちわびる仲間の元へ到着しましたが、

一部の会員は待ちきれずに既に昼食場所である蕎麦屋に向かったとのこと、残っていた会員と一緒に急いで蕎麦屋に向かいました。5分ほどで蕎麦屋に到着、早速飲み物（ビール・日本酒・焼酎の蕎麦湯割り・ノンアルコールビール等、其々好みの飲み物）とつまみを注文し大宴会に突入、初参加の会員もおり話題も尽きず和気あいあいと過ごした90分があっという間に過ぎ、帰りの時間となったため、翌年2月に行われる長野支部総会での再会を約束し其々の家路へと向かい、松本城の見学は無事終了となりました。参加された会員の皆様大変お疲れさまでした。

以上

